
Catch the eye 2017年11月

2017/11/1 十三夜
(水)

十五夜も「女性チャレンジ応援拠点」の担当日だった。十三夜もまたそうで、クレオ中央館の前で一枚。日の入りが早くなっているの、しっかり撮れました。



2017/11/7 出会いへの感度
(火)

今日は立冬、晴れて気温も高め。過ごしやすい一日になりそう。御堂筋のイチョウはまだ青い葉が多い。黄色にそろうのは「小雪」の頃か。

会社員時代と独立してからの違いで一番大きいのは何かかもと考えてみれば、人との出会いへの感度、とらえ方かもしれない。

何らかの経緯やきっかけがあって出会うが、その時点ではあまり特別視しないもの。それがそのうち、この偶然の出会いには必然だったのだと思うような状況や関係が生まれていく。

だから「偶然」を考えることになる。『偶然性と運命』（木田元）、『偶然とは何か』（イーヴァル・エクランド）、『「偶然」と「運」の科学』（マイケル・ブルックス編）の本が目にとまって、読みことになった。

つい先日もまた出会いの妙を再認識することがあった。日経新聞の『私の履歴書』からも人の履歴は人との出会いの履歴とよく言っている。心からそう思う。長く今に続く出会いに感謝するばかり。



2017/11/9 すみれフェスタ
(木)

「八尾の輝く女性活躍推進プロジェクト」の一環で、6、7月の講座を受講した女性と過去の講座の受講者たちも一緒に、『ワタシらしく輝くワークショップフェスタ～大人も子どもも、スマイル&リフレッシュ』が開催。どのブースも休む間もなく、でも殺到するということなく、ほどよい慌ただしさで2時間がすぎたのでした。8ブースという数も、会場のスペースもまたちょうどよく、レイアウトもナイスで、各ブースとの垣根がなく、融合した感じがまたいい雰囲気でした。出展者のみなさんも手ごたえを感じたようです。







2017/11/13
(月)

頭の中

今日も晴れ。でも寒くなってきた。昨夜は初のヒーター使用。紅葉も見頃になりつつある。ただ名所はどこも人多そう。海外からの観光客が増えて、京都はとんでもないだろうと思う。見頃をずらすのも一考。イチヨウの木のアシもとに黄色い葉の小山。これもまた風情がある。

『リーさんの頭の中ってどうなっているんですか?』と20年前に知人から言われたことがある。知り合って6年ほど、よくわかっていてもつもりだったけど、そうではなさそうだと気付いての一言だった。たまに会って話すだけだったから、わからなくて当然なのだけど。

だらだらとまだ『私の日本語雑記』(中井久夫)を読んでいる。それが可能な本。続けて読まなくても、気になった章だけでもいい。実際そうしようと思った。でも大事な箇所を逃がすようで、やめた。一つの段落の文章の中に何気なく書いてある著者の<みたて>に目をみはる。

どんな頭をしているのだろう。読みながら、何度もそんな風に思った。日本語の専門家ではないから感じ、考えることが書いてあるような、でも、他の誰も書くことのできないようなことが書いてある。そう感じるのだった。ふと時間ができた時に散歩する、そんな感覚で読んでいる。

身近に知り合った中にも、どんな風に頭の中が展開しているのだろうと思う人がいる。思考の展開方法が人によってずいぶん違うということは10数年前から自分なりにみてとっていた。自分の<みたて>をまとめて、仕事上でも話している。

だから、多くの人からは?と思われる人の話も普通によく聞き、会話をする方だ。話が進むから相手も饒舌になるのだが、たぶんあまり人に話していないことも話してもらう。そこにはその人にしか感じ得ないこと、<みたて>があって、感服すること多々。

知を内にとどめず、アウトプットしてもらうことが多様な文化の基盤。

2017/11/14 梶・美木多
(火)

堺市の南区役所2階の会議室から。泉北ニュータウンの中間地域とか。始めて降りた駅。朝から雨。「泉北アントレプロジェクト」のプログラム、『私なりの新たな働き方を考えるセミナー』が10時から開催。雨にもかかわらず、事前の申し込み者全員が来場。



2017/11/20 立ち仕事
(月)

昨日あたりから空は冬の様相。全国的に冷え込んでいる。北海道小樽は30cm以上の積雪とか。京阪神の紅葉は今週が見頃、今朝の電車内に熟年女性たちのグループが多かったのはそのせいだろう。ただし今週のお天気はイマイチのよう。22日は小雪。

前からちよくちよく立って仕事する効用が新聞に載っていた。つい先日も、現代人の「座りすぎ」が体によくないことと合わせて紹介されたい。先週末に仕事でノートPCを持ち帰っていたので、昨夜試しにチェストにPCを置き、立って入力作業をしてみた。

やってみると、これはいい。文章を考える間は足や体を動かし、時々体操もできる。事務所でもこうしよう。さて、手持ちの備品で何とかできるか？ 思い浮かべて、そうそう、あれをこうして、これをああして…。うまい具合に今あるもので何とかかなり、着いて一番にセッティング。

見栄えもそうわるくない。これで少しばかり運動量が増えそう。

御堂筋



2017/11/24 「中井久夫」
(金)

さすがに寒くなってきた。昼すぎに外へ出たら、風がつよかった。昨日も今日も晴れて、紅葉の見頃ではあるけど、今年はまだ待機中。一週間後はもう師走。

6月からぼちぼちと読んでいた『私の日本語雑記』（中井久夫 岩波書店）、ようやく昨日読み終えた。『Style-仕事の原点』の「読書の履歴」にも書いたが、本当にいい本だった。

5月に読んで「岡潔」は1901年生まれ、「堀田善衛」は1918年生まれ、「中井久夫」は1934年生まれ。それぞれ16, 17才の差。おたがいの存在は知っていたかしら、ひょっとして何か接点があったか。

『私の日本語雑記』は、このタイトルから想像するトピックをはるかに超えて、支流から大河、身体から外界、この世からあの世までをとらえて、みるような、開放的で、かつ荘厳な調べだった。

この本の中で“同じだ…”と思った箇所。電話を左耳で受けること。「右耳で受けると心なしか乾いた論理しか伝わらない」。『左右脳論』でも言われていること。当方も電話はデスクの左に置いている。

文学の道か精神医学か、進路には迷ったという著者。文学は本当に好きなことで、精神医学は世の中の方がその才覚を掘り所とした。やがてふたつが融合し、そこからさらに超えていくのだから…、偉人。

混沌がしのびよる世界。あふれる情報に惑う人間。今年のテーマにすえた「精神の糧を豊かに！」。これからの社会で働き生きる人それぞれの精神によい糧になると思う、「岡潔」、「中井久夫」。

2017/11/25 大阪城公園
(土)



2017/11/28 うつぼ公園
(火)



2017/11/29 どこかで分身が
(水)

月曜、火曜と小春日和だったが、今日は朝から小雨。明日にかけて本降りの様子。師走と同時に本格的な冬の到来。

“ひょっとすると、建築の世界が合っていたのかもしれない…”。日経朝刊文化面、しっかり読むときもあれば、そうでない時もある。今朝は読む気になった。建設現場などの写真を撮り続けている人の記事。

何ごとともあまり好き嫌いの意識のないタイプ。好き嫌いという言葉自体をあまり使わない。自分の精神によいかよくないかの意識の方が先。とはいえ、そういうことすら、ほとんど考えたことはなかった。

それでも確実にひとつ好きだと自覚したのは「堀田善衛」。2008年秋に横浜であった特別展、時間もわすれて見入る自分に我ながら驚いた。“わたしは本当に「堀田善衛」が好きなんだ…”。

そしてもうひとつ、なぜかしら、高層ビル建設などで使われる長いクレーンの操作。じっと見る気になる自分に、ひょっとして征服欲でもあるのかしらと思ったもの。

そして今朝の文化面の記事。なぜこれを読もうと思ったのか、東京で写真展もやっていると書いてあり、行ってみたいと思ったのか。そこでやおら思い出した。小学生の頃、住宅の平面図をよく見ていた。

新聞の折込広告などに入っている住宅販売のチラシ。そこに載っている平面図を念入りに見たものだった。はるか昔のことですっかり忘れていたけど、建築の道もあり得たかもしれない。

そう進んだとしら…。想像してみると、分身がどこかで活躍していそうな気がする。なかなか愉快的な空想。

2017/11/30 京都紅葉2017
(木)

ようやく紅葉見に出かけることができた。まずは北山の植物園の「フウの木」、そのあとは京都御苑の大銀杏、蹴上へも足を延ばして、インクラインへ。今年も京都へ紅葉見に出かけることができました。





「フウの木」の紅葉をまずは堪能して、大芝生地を前に「仙太郎」のおはぎを味わう。紅葉はまだ見頃なのに、人はまばら。ここは本当に穴場です。



おはぎを食べながら、頭上を見上げると、寒々とした風景。しかし絵になります。



広々とした御苑の一角にある大銀杏。ちょっとタイミング逸したよう。でも実際にみると、圧巻の大木。



蹴上、インクラン。ここは本当に久しぶり。

